

I. 事業概況報告

26年度は介護保険制度の「重点化・効率化」が一層すすめられ、軽度の要介護者は地域・在宅で、施設は中重度者を中心にして看取りまで行うという方向が明確に打ち出され、平成27年度からの制度改定への対応に追われた一年となりました。

事業面では地域の福祉ニーズへの対応として、入山辺地区に2ユニット（定員18名）の認知症対応型共同生活介護「ゆめの里 入山辺」を建設、27年3月に開所しました。

また、懸案となっていた「教育研修体系」を策定し、計画的に人材育成を促進できる体制を整えるとともに「こころの相談室」の設置、腰痛予防等運動トレーニングの実施等職員の働く環境の整備にも努めました。

特別養護老人ホームゆめの里和田（定員80名）では、上半期はご利用者の身体状況が安定していましたが、12月以降入院・退所が増加しました。その結果、一日平均ご利用者は75.6人で計画対比1.4人減（前年対比1.0人減）となりました。短期入所（定員4名）は空床利用を含めて一日平均7.2人で計画対比0.9人増（前年対比0.1人増）となり、長期・短期合わせた一日平均ご利用者は計画対比0.5人減の82.8人となりました。

ゆめの里和田デイサービスセンター（定員32名）では、定員を増員したこともあり上半期は大幅なご利用者増となりました。下半期は入所、入院、ショートご利用により減少したものの、計画対比0.9人増（前年対比1.5人増）の24.9人となりました。

ゆめの里和田訪問看護ステーションでは、ご利用者の入院、入所等により介護保険適用者は減少しました。しかし、医療度の高い、人工呼吸器をつけたご利用者への支援については、春先に増加しましたが下半期は伸び悩みました。

ゆめの里新村宅幼老所（定員11名）では、積極的に居宅介護支援事業所等に働きかけた結果ご利用者・契約者とも増加し、一日平均ご利用者は計画対比0.1人増（前年対比0.8人増）の9.3人となりました。

特別養護老人ホームゆめの里朝日（定員28名）では、入所について地域包括との積極的なかわりを持ちましたが下半期入院治療者が大幅に増加した結果、一日平均ご利用者は26.7人となり、計画対比1.1人減（前年対比0.8人減）となりました。短期入所（定員2名）は一日平均3.2人で計画対比1.0人増（前年対比0.4人増）となり、長期・短期合わせた一日平均ご利用者は計画対比0.1人減の29.9人となりました。

ゆめの里朝日宅老所（定員14名）では、居宅介護支援事業所等との連携強化及び体調を崩すご利用者が少なかったこともあり、一日平均ご利用者は計画対比0.1人減（前年対比0.6人増）の9.0人となりました。

ゆめの里福祉相談センター訪問介護では、安定的に利用者が確保できたことで訪問回数17,436回、計画比103.4%となりました。また、居宅介護支援では、入所等の増加でご利用者が減少しました。予防については増加しましたが一般の新規契約者が少なく、延べご利用者2,323人、計画対比92.2%にとどまりました。

松本市立松風園（定員100名）では、障害ご利用者は増加しましたが一般ご利用者が減少した結果、一日平均ご利用者は96.6人計画対比0.4人減（前年対比0.9人減）となりました。

ゆめの里 入山辺（定員18名）では、3月25日受け入れを開始し月末までに7名のご利用者を受入しました。（4月末には満床となりました。）